

「中間のまとめ」に対する市民意見募集結果一覧

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
1	8/15	記憶のない被爆者ですが、母から聞いた話、先輩から聞いた話などから、決して被爆者が体験したことを繰り返してはいけないと思っています。 被爆者の願いは、決して口では表現することが出来ない体験をしましたが、報復ではなく「ふたたび被爆者をつくるな」です。 そのために、被爆の実相を伝える「証言」や「原爆パネル展」を市内で繰り返し行っています。 3年かけて市内にある小中高127校(小中108校、高校19校)を訪問し「教育の場で被爆者の話を」と要請してきました。 又、毎年7月には校長会に出席し、会議の冒頭に同様の趣旨でお話しをさせていただいています。 校長先生や副校長先生に対応いただき「さすが教育者だ」と嬉しく感じています。 しかし、そのことと私たちを教室に呼び、被爆者の話を聞くこととはリンクしていません。 現在、私たちがお話しする学校は、20%にも達していません。 もう少し、教育の場で戦争体験者や被爆者の話を聞く場を、平和教育に力を入れていただきたく思っています。	2-1	生活・共助	
2	8/19	災害時に断水してしまった時に水が湧き出している場所がわかれば、飲用できなくても役立つと考えられる。 そのため、防災面からこうした情報提供をする必要も高いと考えられるが、いかがか？	4-1	まちづくり	
		湧水(そのまま飲む事が出来る水)の場所を教えてください	6-1	環境	<参考>
3	8/22	「電柱の無柱化を図る」 市内には電柱により電力・通信・音楽放送・有線TVなどが提供されています。 しかし、これらのサービスを受けるために様々な設備が街角に建設されています。 それは、電柱であり支線であり支線柱であります。そしてそれらに支えられて電線が張り廻らされています。場所によっては正にクモの巣状態です。 そして、これらの電線の中には現在使用していないものも多数含まれています。 つまり、撤去費用を抑えるため残置されているものも多数あります。 それらは街の景観を著しく汚していると感じるのは私だけでしょうか？ 必要な電線も出来るだけ架空配線とせず地下配線とすれば設備環境としても安定し長持ちするというものです。 もし、八王子市街から電柱が無くなったとしてもすっきりとした綺麗な街になると思います。 したがって「電柱の無柱化を図る」を提案するものです。 もうひとつは「電柱の無柱化を図る」にも関連することですが、「住宅のインターフェースを一か所にする」というものです。 日本の家屋は例えば電気は東側から電話は西側から水道は北から下水は南へ、ガスは東北からケーブルTVは東南から・・・と様々なサービスが自分たちの都合の良い方角から設備され提供されています。 アメリカなどでは住宅に出入りするそれらの各種サービスの出入り口を一か所にまとめて大きめのBOXに集中してあります。そのBOX内には配管や配線・メータ類・計器類などが大きめのパネルに集中設置されることとなります。またね建設時はそのBOXを目指してに配線なり配管を接続すれば良いこととなります。 メンテナンスもそのBOXを開けさえすれば全て判るようになっていきます。 そのように1か所にすっきり設置をすることによって街の景観の向上にも役立つと考えます。 これらの事は、住宅建設の申請時に指導すれば良いし、条例を作って指導することも可能でしょう。 ご検討願います。	4-2	まちづくり	
4	8/22	まちづくりで大切な事は八王子駅周辺環境整備があると思います。八王子駅が活性化することは市の発展にも大きな意味があると思います。そのためにはJRと京王線との一体化です。今よりももっとスムーズに乗り換えられることにより利用客増やすことができる。またさう撤退の空洞化を防ぐためにも立川駅のエキュートのように駅の外に出なくても買い物ができたり、電車に乗らなくても買い物ができるようすると、観光で問題となっていた高尾山からの帰路の観光客も途中下車して気軽に中心部に立ち寄れるのではないかと。また八高線の複線化を急ぎ青梅線、西武線からの利用客が立川を経由しなくてもダイレクトに八王子これるようになる必要があると思う。今後何十年後かには新幹線の停車駅が相模原になったと聞いたが、八王子駅が要となれるように京王線、八高線の整備に本腰を入れて市が乗り出す必要があるのではないのでしょうか。 経済状況が不透明で、地元企業の先行きも不透明感がつきまとうがそんな中で企業に勤める人や若い人たちが働きやすく、子供の魅力ある教育を提供できるようにするべきだ。そのためには保育園の充実、病気の時の保育環境の充実、教育レベルアップが必要だと思う。100周年のキャラクターはどこでもやっているのあまり賛成できないが、やるのであれば何か八王子らしい安っぽくないような工夫をしてほしい。	2-2	生活・共助	
			3-1	教育・学習	
			4-3	まちづくり	
			5-1	産業	
5	8/23	特別支援と子ども達の教育環境について 我が子は、発達障害です。公立小学校に通っています。息子は、素敵な担任とクラスメイトとのめぐり逢いで、安心して通学しております。 娘は、登校拒否ぎみです。圧力を感じる教育に苦痛を感じているようです。学校は、行くべきところ！と認識していますが、心情の都合で行けない自分に罪悪感を感じています。自己否定感を積み重ねている日々です。 娘にとって、公教育は失敗感、自己否定感をたくさんかんじているようです。教育ってなんだろう？子どもの行き場、素敵な成長の場が見つけられない娘です。この世に生れてきて良かったのか？日々、自問自答を繰り返しております。	3-2	教育・学習	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
6	8/23	<p>中間まとめまで、到達できたことにメンバーに敬意を表します。 まず形式論から。分科会によって総論・各論、各論のみといったバラバラな記述がなされており、故に読みづらい。重要度の判定を示唆する見出し付けに統一性がなく、一面、多元的とは言えるが、重層的には理解しづらい。 分科会によっては定性的記述に終始せず、定量的に言及されても良い部分もあっていいと思う。 中間まとめの段階であっても、市民会議のメンバーによる産・官・民への説明会の開催があっても良いのではないだろうか。 メンバー（公募市民・市職）の皆さん心身ともに充実させて最終素案の策定に向けて頑張ってください。 再会を約束します。</p>	1-1	みんなで担う公共と協働	
			2-3	生活・共助	
			3-3	教育・学習	
			4-4	まちづくり	
			5-2	産業	
			6-2	環境	
7	8/23	<p>中間のまとめで思うことすべての情報を開示する。八王子が形成された履歴、革命的な出来事あったのか、なかったのか、騒動でもいい。どこから来た人達なのか人間性、社会性、向上性、公共性はあるのか。「長崎屋」が最後でかつての日本の老舗伝統のものが八王子から姿を消した。ずーっと東京のどんづまり。いきばのないのが八王子。教育。</p>	0-1	【事務局対応】	
8	8/23	<p>八王子市の基本構想計画の中間報告の冊子を見せていただきました。 まず感じたことはこのプランを考える底流を流れるコンセプトつまり八王子を今後どうしていくというスローガンのもの、または要約した趣旨、基本方針が見当たらないことです。これは絶対必要なものと思います。われわれの八王子市の現状を踏まえて将来構想としてどうするのかを端的に明記する必要があると思います。 たとえば私見としては「八王子市を多摩地区の覇権都市にする」です。以前は東京府は東京市と八王子市しかなく八王子市は多摩地方の自他ともに認める一大拠点であったと聞いております。現在は立川市への裁判所の移転とか有名デパートの営業存立についても<そごう>の例があるように多方面での地盤沈下傾向はまぬがれません。この大命題を全市民、市民会議に掲げて各分野での各論且つ具体的行動指針が打ち出されていくものと思います。 市（行政）の立場が計画の立案企画調整であり、ある分野ではNPO、ボランティア、市民会議がその具体的活動の担い手になっています。ここで市（行政）は広報活動にすべてのTPOを活用して全力を傾けるべきだと思います。つまり市民に情報を発信し続けることが重要です。それは計画段階からその結果報告までを含みます。極論すればその情報の伝達量は今の10倍ほどでもよいと思います。しかもその中味は重複してもOKですし意識的にしてもよいくらいと考えることです。ありとあらゆるメディアをとおしてPRしていくのです。Silent Majorityをいかに揺り動かすかが重要なのです。 小生は八王子に移住して2年です。ついのすみかとして考えている八王子を自慢できる都市にしたいのが本意です。駅南口の開発も立派に完成して非常に嬉しいのですが総合プロジェクトとして次StepとしてのProvisionを描いているのかを駅を通る時いつも考えております。まだ完成したあるべき姿にはなっていないと。</p>	1-2	みんなで担う公共と協働	
			2-4	生活・共助	
			3-4	教育・学習	
			4-5	まちづくり	
			5-3	産業	
			6-3	環境	
9	8/25	<p>【公共と協働分科会】 ・幸福度という、難しいテーマでのナンバーワン目標を掲げていますが、個々の感性の部分が多様にあり、具体性に欠けるかと感じます。現状がどのくらいの幸福度があり、それを10年でどこまで高めるか？対象層とどうするか？などが無いと意見も出しにくいと感じます。 ・財源の捻出には、様々なアイデアがでてくると思います。八王子独自のものでもよいでしょう。自然に恵まれていますし、地域も広い。 ・ニーズの多様化は避けられないところですが、現場に近いところで、その意見を集約することは大切だと思います。新しい組織という考えだけでなく、学校であったり、町内会であったり、現存するコミュニティの、さらなる有効活用も考えるべきかと思っています。</p> <p>【教育・学習分科会】 ・教育現場に参画していない家庭ほど、無謀な要求や一面での判断をしがちな傾向があるように考えます。当然、仕事もありますし、家庭もありますので、密接にできないのは理解しますが、そのような方の参画の在り方（どうあれば参画できるか？）などの意見集約も必要かと思っています。 ・また、比較的小規模集団で固まった行動をとることは時には重要ですが、一方で、他の方がその集団への参加をしにくくしているのも事実です。活動状況などを広く発信することは、一つの方法かと思っています。 ・教育現場での独自判断ができない（責任問題に波及するため）のは理解しますが、八王子市からの指示がないと、何もできないような環境は良くないかと思っています。何が独自判断を妨げているのか？全体との調和との兼ね合いもあるかと思いますが、ぜひ、子供たちのことを第一に考え、すぐにできるジャッジは独自に判断できる環境もご検討下さい。 ・小中一貫や中高一貫など、6-3-3-4という枠にとらわれない学校の増加も必要かと思っています。また、学校に常時ボランティア活動（お年寄りなどの集まる場）を行っている場があり、相互交流があるのも良いかと思っています。 ・企業が行っている各種活動の積極的な活用（学校[PTA]主催ではなく、市がプログラムの積極関与）を利用すべきです。内容によっては、授業に直結するものもありますし、学んでいることが、実生活の中で、どう見えてくるかなどは、非常に有益な経験であり、役にたつと思います。</p>	1-3	みんなで担う公共と協働	教育・学習分科会と【該当部】分割
			3-5	教育・学習	みんなで担う公共と協働分科会と【該当部】分割
10	8/25	<p>「中間のまとめ」は6分科会に分かれて策定された議論が展開されており活発な検討された素案が公表されています。 各分科会のプランは分科会の趣旨に従って基本構想・基本計画がなされていますが、これらのプランすべて実施されたなら素晴らしい市の将来を実現することになると思われます。そのためには<新たな財源の捻出・発見>が策定されていますが、将来の人口減等を考慮するならば、総花式の抽象的なプランは困難となるでしょう。 6分科会の議論には、重複的な計画が策定されているように思われます。もう少しプランを取捨選択し実現可能な素案を検討されることを望みます。</p>	1-4	みんなで担う公共と協働	
			2-5	生活・共助	
			3-6	教育・学習	
			4-6	まちづくり	
			5-4	産業	
			6-4	環境	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
11	8/26	<p>ここまで真剣に、住民（市民）のことを考え、ひとつにまとめて改善向上していこうとしている八王子市ってすごいな！私もこんな町に住みたいな！と思いました。なによりも、行政・お役所に任せきりにせず、市民主導で自分達の町をどうしようかと真剣に考え抜いてビジョンを築いていくことは、人任せ・他責にしない素晴らしい姿勢だと思い、心から共感できます。</p> <p>僭越ながら、教育・学習分科会の中間まとめについて感想を・・・</p> <p>(1) 3本の柱（子供・市民全体（子供も大人も）・地域愛）がバランスよく設定されている点がとても良いと思いました。</p> <p>(2) 少数派や細やかな点にも配慮が行き届いている点が素晴らしいと思います。 例：発達障がいなどの個別事情配慮、市歌やキャラクター設定など</p> <p>(3) 市民全員が当事者となる設定がとても良いと思います。 例：「教育＝学校＆先生」ではなく、親も地域も企業も・・・みんなで協力して子供を育てていく、という姿勢（当事者意識の醸成）</p> <p>(4) 学問・文化・スポーツと、バランスが取れていて素晴らしいです！ 「教育・学習」というと、まずは頭を働かせて勉強するイメージですが、スポーツ・レクリエーションや文化振興の観点を取り入れ、心身のバランスに配慮されている</p> <p>(5) 子供の教育に「社会貢献活動」をリンクさせる着眼点・発想が素晴らしいと思います 幼いうちから、「社会貢献」になじんでもらうことはとても重要だと思います。（続き）ボランティアが生活に溶け込んでいる（と聞いたことのある）欧米でも、ボランティアは学校教育の一環に組み込まれているので自然とその精神が身に付くと聞きました</p> <p>(6) ”八王子市の特色を活かした”文化や芸術・・・という観点で、自分達の地域を見直してみるのには素敵な視点だな、と思いました 私個人としては、普段は自分の地域の特色と文化・芸術を結びつけて考えることがなかったのですが、このように呼びかけられると、身の回りを今一度よく観察してみる契機になり、郷土により一層の関心と愛着が生まれそうだな、と思いました。</p> <p>(7) 全体を通して・・・ 平易で分かり易い文章と言葉遣いで表現なさっていることにより、本気で市民一人ひとりに浸透させたい、実りある提案にしたい、というみなさまの思いが伝わってきました。 広いフィールド設定・多角的なアプローチで「教育・学習」を捉えて、提案が企画されていると感じます。そのため、あらゆる市民が、なにがしかの方法で八王子市の教育・学習分野の活動に参画できると感じられます。一部の市民のための、一部の市民による活動ではない、という点が本当に素晴らしいと思いました。 特に、例えば、”スポーツ””文化芸術”といえ、何かで日本一を獲るとか、一流アスリート/アーティストを輩出するとか、そのための教育助成や設備整備・・・など、一部の突出した才能のみにスポットを当てた発想がつつい浮かびがちですし、そのような提案はどこでも見たことがあるのですが、この提案はそうではなく、市民一人ひとりが主役だと感じられる内容でした。</p>	3-7	教育・学習	<参考>
12	8/26	<p>最初に市民・市民団体・企業・大学・行政で構成される“新しい公共”について地域の活性化のために大いに期待しております。しかしながら、みんなが担い手「新しい公共」に書かれている細目では主に地域住民と新しい公共との係わりについて書かれていますが、市民が新公共から受けるサービスについての記載が不十分だと思います。コミュニティ・カフェ等を開設するだけでは不足だと思うのです。私は次のサービスを加えることを検討していただきたいと思います。</p> <p>移動販売による買い物弱者支援（仮称）について 依然から高齢化に伴う買い物弱者の問題に深い関心を持っていました。 どうやって急速に増加する高齢者を中心とする買い物弱者を支援できるのか。もうまもなく高齢化の域に達する私たち世代の問題でもあり切実です。 この支援は企業が係わる「新しい公共」が担うべきだと考えます。 方策として宅配、地域住民或いは団体の協力、現在行われている巡回バスによる送迎もありますが、次の点で移動販売車による支援が優れていると考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多摩地域で広い地域の八王子市で移動販売車なら広範囲に回れる。 2. 高齢者が主体的に買い物に出かけることで近所の買い物客とコミュニケーションを取る機会が増える。 3. 住まいに近い場所に小売店が回ってくるので足腰の弱い高齢者や弱者でも買い物に出かけられる。 4. 既に国内の一部地域や東日本大震災の被災地支援ではコンビニや大手小売りチェーンの移動販売車が地域の団体・組合と協力して実績が出ている。 <p>増加する一方の高齢者に買い物の機会を提供あるいは支援することに関し新しい公共が中心となって対策を強化していただきたいと思ます。 ぜひご検討をお願いいたします。</p>	1-5	みんなで担う公共と協働	
			2-6	生活・共助	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
13	8/26	<p><新基本構想・基本計画>について 中間報告を拝読しました。携わっている皆様、御苦勞様です。 敢えて苦言を呈します。 H32年まで人口が増加するとありますが、住民感覚からすれば甘い推計と思います。何故なら 市に魅力がないこと、 古今東西、西に伸延する都市は衰退することが歴史上証明されていること 何故市の中核機能が西方なのか。市民の利便性を考えれば当然JR八王子近辺でしょう。 市役所職員の某氏は 八王子市のサービスは劣悪、紙税額に見合うサービスを受けていないという苦情が多すぎる。 と職員自らが言っていること(感じていること)をどう解消するのか。</p> <p>次に各分科会について総論で申し上げます。 中間報告ということですから、やむを得ないと思いますが、具体性が全く感じられない。美辞麗句 どこまで市全体の現状を実地検証したのでしょうか。机上の空論では？ 小生はかなり前から市役所に現状の問題点、改善要望を出状してきました。その都度「各課」より公文書として回答をもらっていますが、各委員メンバーはその公文書を具に見ているのでしょうか。 ex 21八産政収第210453号では「(長沼町に)商業施設を増やしたいと考えています。」、 21八総職収第140号では、「市民サービスの向上のため職員一丸となって業務遂行に努めます。」とありますが、何故上記 - が出るのでしょうか。 小生の居宅は日野市寄りの長沼町です。そこから北野まで「内科医」が一つもない、又同様に書店が一つもない。これをどう思われますか。「健康相談や産科・救急医療体制の整備」をうたっていますが、何処を想定していますか。「市として公の診療所の設置は考えていない」という公文書もあります。(長沼町は陸の孤島です) また、色々申し上げることはありますが、23.8.8付市長宛に出状した要望(諸問題につき市長自らの声を聞きたい。納税者に告知する義務がある)(監督責任 - 地方自治法第154条)の回答未済です。</p>	0-2	【事務局対応】	生活・共助に一部【該当部】分割
	8/26	<p>【前略】 小生の居宅は日野市寄りの長沼町です。そこから北野まで「内科医」が一つもない、又同様に書店が一つもない。これをどう思われますか。「健康相談や産科・救急医療体制の整備」をうたっていますが、何処を想定していますか。「市として公の診療所の設置は考えていない」という公文書もあります。(長沼町は陸の孤島です) 【後略】</p>	2-7	生活・共助	一部【該当部】以外は【事務局対応】
14	8/26	<p>私は、平成元年(1989)12月1日の広報紙に、濡れると滑る危険な歩道と題し、話題と提起した者です。おかげさまで、多くの方々のご協力をいただき、今は安全な歩道となり、安心して歩けます、ありがとうございました。 余談ですが、その後、大阪では、平成16年に濡れた歩道での転落死が、NHKのクローズアップ現代で報じられましたので、問い合わせのうえ、私の体験談と写真を送付してあげました。いまは後期高齢者に仲間入り、街中をみて歩き気が付いたことを申し上げます。 久しぶりに、もとの職場をおとすれたとき、女性社員が、わたし最近八王子市(別所)に引っ越したの、 さんのお宅はどの辺?と聞かれましたので、生まれ育ちは平岡町、いまは檜原町。と答えたところ ?な顔をしたので、市役所の北西1キロと答えても、?な顔を見せた。いまは市役所本庁を知らなくとも、生活をおくることが出来るのだと改めて知り。人口55万、人の交流の少ないでかいだけの街、との感じ、日曜日に本郷横丁~八王子駅まで歩いてみても、若い親子ずれに会うことなし。 昭和63年に広報課発行の八王子むかしばなし(30話)本の出版されておりますが、図書館だけの所蔵物でなく、1話1葉2ページ見開きに編集されているので、1話ずつ集め、サイドポケット型のバインダーに綴じること、1冊の本となる、スタンプ、ハイクならぬ市中に点在する昔ばなし集め、小学生と若い親子連れが街に出てくるきっかけができれば、賑わいが生まれ、町おこしに多少の効果をおぼせると想います。</p> <p>また、昨年の12月、こどもと孫に誘われて、東京都の都議会議事堂ギャラリーに、小学生の絵画の作品展を見に行きました。わたくしの目を引いたのは、最高の賞(都知事賞)をとったお子さんの絵、絵の名札に八王子市立第二小学校の5年の女子児童のお名前がしるされておりました。八王子のおまつりを描いた素敵な絵、色彩のゆたかさ、ここにも街おこしのヒントが隠されています。甲州街道の街中ギャラリーを北向き商店街(直射日光をさけて)の協力をえて、商店のウインドのなかをかりる、あるいは街中に展示スペースを別につくり、競わせるのです。</p> <p>市内、約70校の小学生の家族が、わが子の絵を見に来るでしょう。 以上は2件は、四季をとわず、年間をとうしてできる行事です。 市中の小学校、教育委員会、観光協会、商工会議所のほかに、美術系の大学の協力ももらえれば申し分ありません。大事なものは組織力、大勢を引き込むのです。市中に潜在する宝(人の力)は生かして使いましょう。 冒頭に書いた、濡れると滑る危険な歩道も、多くの理解者のおかげで実現できたと思っております。 追記 別紙のとっくり亀屋は、昭和のはじめまで八日町に実在した旅籠です。</p>	3-8	教育・学習	
				5-5	産業

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
15	8/29	<p>いきいきと自分を表現できる子どもを育てるまち</p> <p>1.2 一人ひとりに合った指導を先生方はがんばってやって頂いていると思いますが、手が足りない感じがします。 大学生等のボランティアに加わって頂き大人の目が届くようにして頂きたい</p> <p>3.教員のレベルアップには、もっと先生方に時間的ゆとりが必要ではないでしょうか？抱える仕事量が多いように感じます</p> <p>4.家庭の教育力をあげるための講座等があると良い。親ももっと学校に関わっていくのが良い。</p> <p>5.せっかく大学の多い街なのだから、良い意味で、大学生の力を利用できたらと思う。</p> <p>新たな地域文化や芸術を市民が創るまち</p> <p>1.車人形？蚕を育てる等、小学校で学ぶ時間があってもいいのかなと思う。</p> <p>2.建物を建てるだけでなく、オリンパスホールも市内の学校が優先して使えるようにして欲しい。</p> <p>4.新しい市歌は、郷土愛のあるファンキーモンキーベイビーズの方々をお願いして欲しい。</p> <p>いろいろな地域で「ゆるキャラ」等あるが、あまりお金をかけないでいないの美術系の学生からデザインを募集したらどうでしょうか？ 子供をもつ主婦です。夏休み中は考える、まとまった時間がとりにくいので、せめて意見の〆切を9/10頃までにして頂けるとありがたいです。</p>	3-9	教育・学習	
16	8/29	<p>新基本構想・基本計画特集号中間発表 産業分科会観光・商業政策「高尾・山の駅」構想について</p> <p>年間270万人の観光客をストレートに駅に向かわせるのはなんともいってももったいない。山から下ってあっ疲れたといっても大人数や子供づれでは民間は敷居が高いし入れない。すこし休んでから電車へ、お茶をする場所、夕食の食材の買物etc 山の駅があつたらなあ～。子供には休日イベント場所。 現在「都」で使用している所へ付随して作れないだろうか？下りて来てからの山の道を整備してぜひ「山の駅」を実現し観光客の流れを作ってみてはどうか？</p>	4-7	まちづくり	
			5-6	産業	
17	8/29	<p>畜産分野について興味のある一市民として以下の通り意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 過去の八王子市の政策の中で、農業・林業の振興は目にしますが、畜産の振興を掲げたのは、「中間のまとめ」とはいえ初めてではないでしょうか？ 以前から、衰退一辺倒の東京都及び八王子市の畜産を淋しく思っていますので関係する公募市民委員の方々に敬意を表するとともに、基本構想・基本計画倒れにならないように、実施計画、実行予算などが具体化され実現されるまで何らかの関係を持ち続けて頂きたいと思います。</p> <p>2. 平成15年4月1日に施行された「八王子市いきいき産業基本条例」に基づく10年間を見据えた基本方針・基本施策として八王子市産業振興マスタープランが策定されていますが、この中の「農業活性化プラン」と、別途有る八王子市農業振興計画（期間：平成18年～平成27年）を、見当違いかも知れませんが、出来るだけ今回の構想・計画に一本化し、支援体制強化を計られるよう希望します。（農林・畜産政策推進へ）</p> <p>3. 特色ある畜産物の「発掘」ではなく「創出」を目指すべきであり、これらが「新たなブランド」として育成されるのではないのでしょうか？ 現在の八王子市の畜産は、酪農、養豚、採卵養鶏、烏骨鶏飼育などではないかと推察していますが、特色ある乳・肉・卵の畜産物を創出し、地域ブランド化することは、いくら八王子市が支援しても前途多難で、特に短期的には至難の業ではないでしょうか？ このためには、東京都により既にブランド化されているTOKYO-X（豚肉）、東京シャモ（鶏肉）、東京烏骨鶏（卵）を基本的に利用した美味、安全性、安心、価格などを目玉とした畜産物およびそれらの加工品の地域ブランド化を目指してみたいかがでしょうか？</p> <p>4. 家畜を飼えば、都市化、宅地化が進んだ現在、周辺住民とのトラブルは避けられないこととなります。これらのことを完全とまでは行かなくとも回避するため、住宅地から出来るだけ離れた山中に中小規模では採算的に無理な面をカバーした大規模施設を設ける傾向にあります。しかし何よりも有害動物（ネズミ、ハエ、蚊）、悪臭、廃水処理など周辺住民に迷惑をかける恐れのあることの対策を、多額の経費が必要ではありますが十分考慮しなければ事業の存続は不可能です。このためには、中小の個人の畜産では困難であっても、将来を担う気のある畜産者が核となった法人を設立し、広大な八王子市内で周辺住民に迷惑のかからない規模の、国及び東京都等の諸制度を十分活用した畜産公害防止施設を完備した畜産基地を適地に設けたらいかがでしょうか？</p> <p>5. 八王子市は保健所政令市であり、食肉検査所があり、牛、豚のと殺・食肉検査を行っています。（鶏のと殺・食肉検査を行う食鳥処理場の市内有無については？）即ち、畜産物（肉）の生産と殺検査製品加工販売が一貫して市内で可能な極めて珍しく便利な八王子市です。地域ブランドの確立には、これら生産から販売までの流れを巧みに利用できるのではないのでしょうか？</p> <p>6. 最近、家畜と言えば「鳥インフルエンザ」、「口蹄疫」など直接市民生活に影響を及ぼす重大疾病の流行が有ります。畜産業の発展には必ずこれらをはじめとする各種疾病のことも考慮する必要があると有り、場合によっては事業存続に関係することもありますので、万が一のことを考えて東京都（家畜保健所）との連携が重要になるものと思います。また、市内には有名な動物用医薬品メーカーの工場が有り、有事の際の協力を前もってお願いしておくことも必要と思われれます。</p> <p>以上、約40年間八王子市にお世話になっている一市民ではありますが、不勉強のため、時代錯誤、間違い、勘違い等有りましたらご容赦ください。計画素案の策定に当たり、何らかのご参考になれば幸いです。</p>	5-7	産業	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
18	8/30	<p>「中間のまとめ」に関する意見です。 「環境分科会」のまとめに関して 抽象的な事しか書いてないので分からない。 八王子市は緑が豊かで自然に囲まれた素敵な街だと思います。 特に私が住んでいる宝生寺団地は山に囲まれ静で住みやすい環境です。 ここに引っ越して来て23年ぐらいになりますが本当によかったと思っています。 しかしすぐ近くで自然環境を破壊する「物流施設」や「北西部幹線道路」などの計画がある事を知りがっかりしています。 「物流施設」に関しては地元住民に説明すらしないで、市がどんどんと計画を進めようとしています。 緑を守る、里山の自然を保全すると書いてありますが、言う事とやってる事が違います。 地元住民の意見をもっと聞いてほしいと思います。</p>	6-5	環境	
19		<p>新基本構想・基本計画「中間のまとめ」に関するご提言 地球温暖化・東日本大震災からの教訓を時代背景として各分科会のまとめに対して、横断的に提言をさせていただきます。</p> <p>1. ご提言の骨子 八王子市は再生可能エネルギーの宝庫ではないでしょうか。 エネルギー（電気エネルギー）は水に乗って八王子市へ！ 八王子市水循環計画とゆめおりプランの基本構想として【地域エネルギーシステムの構築】を、大きな柱としての構想です。</p> <p>2. 御提言の背景 地域の特性を活かした町づくりで、飲み水や、作物用などの用水などの直接的利用だけではなく、動力を得る水の資源としての貴重な価値を気が付きました。 地球温暖化を招いた化石燃料から、物質文明の大量生産・大量消費・大量廃棄の現状を見直し、 ・水力によるエネルギー資源の生産・供給地として、里と山の再生（特に過疎化傾向のある地域） ・湧水ネックレス構想と丘陵地の湧水復活の水路を活用した小水力発電をコアとした御提言です。 付記：2009年度に小水力発電所の建設（出力が1000k w以下）が新エネルギーとしての取り扱いが法制度として認可されました。 イメージとして 水もエネルギーも食料も、自立的に生産し、余剰を消費地に供給する地域社会の構築を具現化し、小水力でつくった電力で煮炊きし、充電した車や自転車を走らせ、余った電力を販売して、より豊かな暮らしをする社会像を想像して下さい。</p> <p>3. 具現化目標 まず、数10k w、から数100k wの小水力発電所を建設し、可能な限り地域が活性化するように実施。 稼働後は、電力の地域内販売で循環する経済を作ります。 付記：100k w出力規模の小水力発電所であれば、電力の販売利益を地元へ還流し、地域に眠っている資源の活用で、エネルギー的社会像が見えてきます。</p>	6-6	環境	
		<p>4. 中間のまとめへの意見 みんなで担う公共と協働分科会 （歴史的にみて、水こそが人と人を繋いできた） 地域住民が気軽に立ち寄り、交流する場の開設に関して。 老若男女が集まっていた、共同井戸や水洗い場などの施設が無くなりお互いに顔を会わず機会が減っています。 小水力発電所が、地域環境や、社会に貢献しているとの再発見とそこに暮らす地域住民が主体的に関われる仕組みになれば、地元で親しみのもてる施設となり、水洗い場に代わって人々が集まれる場所となります。 地域に根ざして行動できる職員 【地域エネルギーシステムの構築】は、未来を担う男女の若者を専任として、市役所の中に組織化してほしい。（人材育成の目的も有り） さらに応援部隊として、産・官・学・民の協力を得て、知恵と経験で支え人と自然の共同作業を遂行しましょう。</p>	1-6	みんなで担う公共と協働	
		<p>生活・共助分科会 特に健常者以外の人々が、車椅子でも自由に参加できる空間を作りたい。例えば湧水の公園にきて、音楽療法でのリハビリや軽度の人には軽い仕事など。知恵と経験を若者に伝えてほしい。</p>	2-8	生活・共助	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
	8/30	<p>教育・学習分科会 八王子の歴史を知り、郷土愛を育み、深めていく場を創設。 武田信玄息女松姫さまの崇高な生き方を、「時空を越えた体験型のストーリー空間」として魅力的に再現し、歴史道を整備し、『いなか』おこしで地域活性化を促進する。 付記：歴史道のルート案（観光・商業政も含めての） 上恩方の金照庵跡 川原宿の心源院 御所水弁天堂 信松院 郷土資料館で、夕やけ小やけふれあいの里に地域に合わせた水力エネルギー導入で地域活性化の手立てとしたい。 水力エネルギー 地域の力を借りて、観光施設や集落の電気をまかない、余剰分は電力会社に売電し、経済的にも成り立つ施設としたい。</p>	3-10	教育・学習	全体は環境に配付。4・中間のまとめへの意見のみ該当分科会に配付
		<p>まちづくり分科会 “スマートシティのまちづくり 湧水 水路 河川の水力を活用して、マイクロ水力発電のネットワーク化を図り、地域エネルギーシステムの地産地消が現実に手が届く地域活性化と新たな産業分野の創出につながる計画にすべきと存じます。 ネットワーク化は出力を1000kwを目標として、（一基は100kwで）この大きさをわかりやすい数字にあてはめると、快適に暮らす電力量を一戸あたり2kwhとしての計算で、およそ500戸の基礎的電力を十分まかないます。 今日ほど、自然エネルギーが有望な資源と考えることができますね。 且つ、マイクロ水力発電所の保守もあり、新たな雇用の創出も生まれます。</p>	4-8	まちづくり	
		<p>産業分科会 新八王子21プランでの第3節 工業で記述の地場産業の振興の状況は如何でしょうか。 地場産業の振興と新たな産業分野の創出に関しての別途提案があります。書面の都合上、下記の別途説明の機会をお与え下さい。 ・ファッション産業の誘致 ・環境産業の創出 ・市営の水力発電会社の設立を考慮に入れた若者の育成</p>	5-10	産業	
		<p>環境分科会 水循環計画書で、平成26年までの実施項目の中で、湧水や水路の整備・湧水ネックレス構想での水路整備と新たな水資源への取組みに関し、下記の検討課題があります。 どのような利用目的で水路を整備するのか？ 生活用水ですか？観光資源ですか？環境保全ですか？癒しの水辺空間ですか？ 水の活用方法で地域活性化の方法が異なります。 付記：水の活用方法に関し、徹底的な議論が必要です。 整備費用に対する費用/効果は？ 水力発電の活用を今後の計画で展開するなら、 水量・落差を考慮した水路整備が必要 水を暮らしに生かす環境づくり 熟・壮・青・児の各年齢層が集い合う親水性の高い、水の公園作り。 注：水の公園が心のオアシスともなり、親水性の高い水辺空間として下さい。 ゴミの3Rから5Rへの展開（別途説明の機会を与您してください） 新たな産業起こしの提案があるためです。 付記：例として、1回用品の禁止 コンビニでの包装袋のマイバック化もしくは有料化 CSR（企業の社会的責任）の徹底</p>	6-6	環境	
20	8/30	<p>教育・学習分科会へ提言 子どもたちに見せたい人形劇（NHK取材）劇団どら 子どもたちに見せたい劇、小劇場をふやす 大人も見たい小さい映画上映場をふやす 劇団風の子のものを低料金で見られるようにしてほしいです。（数々の賞をとる本格的なもの。ご存知とは思いますが） 今ある市の施設を改築してさらにあちこちに利用できる場所をつくって学習しあえる所がふえるとありがたいです。 管理は地域のシルバーの方々におまかせするというのは如何でしょうか。</p>	2-9	生活・共助	
			3-11	教育・学習	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
21	8/30	すべての小学校にスクールカウンセラーを配置してください。 プロの臨床心理士さんがいて下さると、教師、保護者、子ども達にとって、大変心強いのです。校内委員会も何倍も実践的に充実します。 ぜひ各校1名を！！ 保育園、幼稚園の段階での発達相談を、観察、診断、相談を含めて全ての園で実施できるようにして下さい。早期発見、早期支援が子どもを豊かに育てます。 学校サポーターの配置をより積極的にすすめて下さい。また、中学校でも通常級で苦戦している生徒を支援するサポーター配置ができるようにして下さい。退職後の非常勤教員をサポーターとして活かせる道はないのでしょうか。そういう働き方を希望する方々もいるのでは、と思います。（ただし、トップダウンではなく、現場の先生方と十分話し合っ有効なあり方をさぐってほしいです。） 修学旅行（移動教室）への援助金を復活して下さい。原発問題が注目される中、世界遺産でもある広島修学旅行は大いに学べるものがあるはずと思いますが、費用負担を少しでも軽減すれば、行きやすくなると思います。	2-10	生活・共助	
		3-12	教育・学習		
22	8/31	市民会議の委員の皆さま方の活動に敬意を申し上げます。 震災・原発事故を経験し、住民は様々な不安を感じています。改めて、これからの国・都・市政のあり方が問われているのだと思います。今までの開発中心の市政でいいのか立ち止まって考え、もう一度、新の意味で安心・安全な生活・将来に対しての希望を追及してゆきたいと思う。そんな思いで意見をのべます。 《みんなで担う公共と協働分科会について》 「幸福度ナンバーワンのまち八王子」をめざして！ とあるが、何がナンバーワンなのか、具体的に追及して下さい。（以前、八王子市の学校給食はかなり有名でした。他市からの見学が数多くありました。） みんなが担い手「新しい公共」 「地域に根ざして行動できる職員を育成する」とあるが、具体的にどういう事かわからず。具体的に明記してください。 分権時代に対応する行財政改革 施設利用料などの受益者負担... 受益者負担を再検討して、財源を発見するとあるが、今の利用料を値上げするということか？それは困る。「市民や団体が地域活動に参加する土壌をつくる」という目的に多に反する。活動の場をうばう事につながります。再検討を！！	1-7	みんなで担う公共と協働	【該当部】を全分科会に配付
		《生活・共助分科会について》 八王子市でも年々増加傾向にあるDV・家庭崩壊・ひとり親etc等々...生活・成長・命がおびやかされる状況を取りのぞく事に視点を向けてほしい！！ こども自身が安心できる環境とあるが、その保障として、荷物の一時的預かりみみたいな託児所ではなく、子どもの心身の成長が保障される「公的保育」を守り拡充してください。子供は宝です。	2-11	生活・共助	
		《教育・学習分科会について》 教育・文化・芸術に予算をしっかりとつけてほしい。	3-13	教育・学習	
		《まちづくり分科会について》 スイスイプラン等々の実施により、交通渋滞が目に見えてへっいていっている。（陣馬海道等）今後も、右折レーンを増やすなどの努力を続けて下さい。同時に歩道の整備を希望します。 山間地等交通不便地域に対しての交通を確保する事は、単に不便を解消するのみならず、命を守ることに直結する。はちバスの新設等、柔軟・早急対応してほしい。 幹線道路網の早期整備とあるが、北西部幹線道路の事だと考えます。北西部幹線道路の第4工区ルートは、洪水ハザードマップと重ね合わせてみると、よくわかる様に洪水で危険だとされる所に道路をつくる計画となっている。しかも、掘削構造であり、川口川の川底より低い所を道路が通る構造となっている。これでは、豪雨時は道路そのものが水没してしまう。緊急時、災害時に活躍すべき道路が、逆に災害を呼び込む道路になり、危険を呼び込む道路となる。この様な道路計画を市が押し進めていいのか！道路に対する意見は様々あるが、最低でも440億円もの税金を使ってまでもつくる道路に、こんな大きなリスクがある事を、しっかり認識してほしい。賛成・反対以前の問題であると思う。まさか、まさか、市がこんな道路を計画しているとは市民は思ってません！つくってからでは遅すぎます。安全・安心なまちづくりの視点からもまちがっています。中止も含めて見直すべきです。	4-9	まちづくり	
		《産業・環境分科会》 海外や国内の...企業の製造・研究開発の拠点を誘致 とあるが、川口物流拠点構想の事でしょうか？山をくずして、そこに物流拠点をつくる計画はやめるべきです。震災・原発事故からの教訓を踏まえれば、こんな計画はできません。緑の環境づくりを真剣に考えて下さい。 森林や里山の貸出しとあるが、具体的にどういう事が知りたいです。	5-11	産業	
		《産業・環境分科会》 海外や国内の...企業の製造・研究開発の拠点を誘致 とあるが、川口物流拠点構想の事でしょうか？山をくずして、そこに物流拠点をつくる計画はやめるべきです。震災・原発事故からの教訓を踏まえれば、こんな計画はできません。緑の環境づくりを真剣に考えて下さい。 森林や里山の貸出しとあるが、具体的にどういう事が知りたいです。	6-7	環境	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
23	8/31	<p>ゆめおりプラン「中間のまとめ」について私感</p> <p>「みんなで担う公共と協働」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体、企業、大学、市のつながりがない状態から、コミュニティカフェの開設、地域内委員会の創設、団体同士をつなげるコーディネータの育成との案は良いと思う。一番懸念されるのはIT社会のひずみからコミュニケーションが不足し、人と人がつながっていないこと。分からないことはインターネットで調べ、既存の町会組織や子ども会にも魅力がないのか無関心、人の話しには行く耳を持たぬ世代が多い中で、具体的にどのような仕組みで人をつなげることが出来るのか。市民団体や企業、大学それぞれの特性を活かした公共が問われる。大学は多いだけで優秀な人材が活かされていない。 	1-8	みんなで担う公共と協働	【該当部】を全分科会に配付
		<p>「みんなで担う公共と協働」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民団体、企業、大学、市のつながりがない状態から、コミュニティカフェの開設、地域内委員会の創設、団体同士をつなげるコーディネータの育成との案は良いと思う。一番懸念されるのはIT社会のひずみからコミュニケーションが不足し、人と人がつながっていないこと。分からないことはインターネットで調べ、既存の町会組織や子ども会にも魅力がないのか無関心、人の話しには行く耳を持たぬ世代が多い中で、具体的にどのような仕組みで人をつなげることが出来るのか。市民団体や企業、大学それぞれの特性を活かした公共が問われる。大学は多いだけで優秀な人材が活かされていない。 <p>「生活・共助」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記との共通点はコミュニティだ。 ・「未来をつくる」子育て支援体制、こどもの学びの場、遊びの場、やすらぎの場をつくる・・・教育は先ず家庭に基本があるが、地域には異世代の経験豊富な人材が埋もれている。そういう地域の人々が気軽に支援できる体制、また気軽に頼める体制が必要だ。核家族化の影響もあり、今の子どもは学校、家、塾、おけいこごとの繰り返しでこどもの頃に培うべき幅広い経験や五感を使って行動することがほとんどない。地域の力があるはず、未来あるべき子供たちに居場所を提供すべきだ。 ・ボランティアポイント制度と近隣市との連携のつながり何かがあいまい。ボランティアは自発的に行われ、強制もないのでポイント目的に参加するという事になると主旨が代わってきて好ましくない。 	2-12	生活・共助	
		<p>「教育・学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の教育力を見つめ直す・・・現場の教員はいわゆる学力重視で育ってきた時代の成績優秀な方が多く、多面的、実践的な指導、心豊かな指導を求めるには酷な気がする。教員自身がそのような環境で育ったのではなく、豊富な経験をしていないのではないか。ただ、教員の世代の幅もあるので一概には言えまいが、教員も教科だけではなく、課外授業的な得意分野を持つ努力があっても良い。 ・「親も育とう」では「自分の子が1年生になった時には親も1年生、子育てしていくうちに自分自身も育つ」と言われたことがある。他者へ責任を求める前に己をみつめ、日々向上していこうとする気持ちが大事だ。わが子だけに目を向けず、広く親同士の交流や各種講習会、イベントへの参加で自分を高めることも必要だ。 	3-14	教育・学習	
		<p>「まちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化、街路樹の促進、街ウォッチングができる緑の多い公園づくり、公園をめぐり、食べ歩き、八王子の文化にも触れられる一日楽しめるコースの整備、設置を求む。 	4-10	まちづくり	
		<p>「まちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地の活性化、街路樹の促進、街ウォッチングができる緑の多い公園づくり、公園をめぐり、食べ歩き、八王子の文化にも触れられる一日楽しめるコースの整備、設置を求む。 <p>「環境」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然エネルギー」への転換に市がより積極的に働きかけ、大学の協力も得て実現できるように。 	5-12	産業	
		<p>「環境」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然エネルギー」への転換に市がより積極的に働きかけ、大学の協力も得て実現できるように。 	6-8	環境	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
24	8/31	<p>八王子市に在住して14年目になる主婦です。 市民会議での中間のまとめを拝読させていただきました。 現在 小学校二年生の子供がおります。 また、市内の小学校の一年生のクラスにボランティアとしてサポートに時折入っております。 その関係で、中間のまとめの『教育・学習分科会』は、特に興味深く拝読させていただきました。 ぜひ、記載事項の強化取り組みを、お願いしたいと思います。 小学校で、個々の子供たちをサポートすることの大切さを日々、痛感しています。 1人1人、子供たちは困っていること、課題が違います。できるだけその1つ1つに向き合ってあげたいと思いつつも、手が回らない現状があります。 成長段階にある子供たちは、日本の大きな宝物です。 未来ある宝物たちを、どう見守り、支えていくかは大人たちの大切な課題と感じます。 予算の関係もあるかと思いますが、教育環境の人員不足の問題を、何とか改善することはできないでしょうか。 小学校低学年、特に1・2年生は、見守りの配慮が必要です。 また、環境的なことになりませんが、サポートに7月に入っていて感じたことがあります。 猛暑の中での教室内で勉強に集中するのはかなり厳しいということです。 教室内の2台の扇風機では、生ぬるい風が時折吹いてくるだけで、とてもまかないきれない暑さです。熱中症の心配も感じました。 集中力や思考回路も、養えない環境と感じます。 窓際は32、33あるといいますが。カーテンを閉めると若干日差しは遮られますが、子供たちは汗だくです。 どうか、対策のご検討をよろしくお願いいたします。</p>	3-15	教育・学習	
25	8/31	<p>広報はちおうじ8・15号の、市民会議「中間のまとめ」についての意見です。 各分科会とも、よくまとめて頂いており、市および市民委員の方々のご努力に感謝いたします。 私は、市民活動に携わる立場から「みんなで担う公共と協働分科会」の報告に関心をもちました。 ・「地域住民が気軽に立ち寄り、交流する場としてのコミュニティ・カフェ等を開設する」という案に賛成で、ぜひ具体的な計画案まで進めて欲しいと思います。 これに関連して、NPO等の市民活動団体は財政基盤の弱さから、多くの団体が自前の事務所をもつことが出来ず、ぜひ、公共施設や市内の空き店舗などを 格安で貸与出来るような「NPOの共同事務所」（NPOアパート）を整備して欲しいと思います。市民会議で検討して頂くことを切に希望いたします。 ・この6月にNPO法改正が成立すると共に、寄付金税額控除等の税制改正法案も成立しました。また認定NPOについても、PST要件の緩和の一つに「条例個別指定基準」が盛り込まれました。 東京都や八王子市が条例整備を行うには、まだ時間がかかると思いますが、新しい公共を担う市民活動団体のパワーアップと活性化のために、条例整備は避けて通れない道だと考えます。このことについても、ぜひ市民会議で議論を重ねて頂くことを希望いたします。 ・市民や市民活動団体が、八王子市の発展、活性化にどのように関わっていけばよいのか（生涯学習のような、趣味的な活動は別として）、分かりやすく具体的な課題、目標等を掲げていくことも必要と思います。 この市民会議に携わる皆さま方の、一層のご健勝を祈念しております。</p>	1-9	みんなで担う公共と協働	
26	8/31	<p>「ゆめおりプラン」の中間とりまとめたいへんご苦勞様でした。これを拝見し、以下に私の意見、要望を申し上げます。よろしくご検討下さい。 「中間とりまとめ」では、平成42年には本市は65歳以上の高齢者の人口割合が29.3%に達すると推計し、「生活・共助分科会」の3項目目に「高齢化に伴う肢体不自由者に対する診察や、医療情報の管理、医療産業育成の機能を持つ複合センターの設立支援」が取り上げられているほか、「まちづくり分科会」で、「はちバス」運行ルートの新設と、バリアフリー化による高齢者らにやさしいまちづくりが検討されていますが、急速な高齢化の進行に対する検討が不十分のように思われます。ぜひ、以下の点についてのご検討をお願いいたします。 1．高齢者の医療費の窓口負担の無料化、軽減化 2．希望者がいつでも利用、入居できるよう介護施設、特別養護老人ホームの増設 3．高齢者の「はちバス」無料化、軽減化と運行ルートの新設、拡充（本数増など） 4．高齢者の市民センター、市民体育館、プールなどの利用料の無料化 5．独り暮らし、二人暮らしの高齢者への見守り、緊急通報システム設置などの支援 6．緊急時、災害時の対策 質問：「医療産業育成の機能を持つ複合センター」とは、具体的にどのようなものを想定されているのでしょうか。 なお、ご存知かもしれませんが、1項と3項については日の出町で実施され、1項の軽減化については松原村で実施されると聞いています。</p>	2-13	生活・共助	
			4-11	まちづくり	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
27	8/31	<p>みんなで担う公共と協働分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「幸福度ナンバーワンのまち・八王子」 幸福度とは抽象的で具体的尺度が不明である。(例えば固定資産税、住民税が東京で1番安いとか)具体的な項目を設定すべきである。 ・施設利用料...再検討...財源発見・・・とあるが、利用料の値上げを前提としているように取れる。もんなが安い料金で安心して利用するようにすべきでは。 ・地域に根ざして行動できる職員の育成 なぜこのような項目がでて来たか理解できません。公務員は全市民に対し奉使するものでは？ 	1-10	みんなで担う公共と協働	【該当部】を全分科会に配付
		<p>生活・共助分科会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の0才児保育や全員入所の取り組み ・高齢者の老人ホーム全員入所などの取組みも検討すべきでは 	2-14	生活・共助	
		<p>教育・学習分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先生は雑用も多く、ゆっくり、子供と接する機会が少ないと聞いています。先生にも少し、ゆとりができるような対策が必要では ・本当に学びたい人のために、市として、しょう学金制度の充実の検討も必要では ・市内大学との産学協同のすい進は？ 	3-16	教育・学習	
		<p>まちづくり分科会></p> <p>幹線道路網の早期整備としているが...市の計画道路である北西部幹線道路は住民には不便をしいり、防災上役に立たない危険な道路である。特に3Km以上もある掘削部は、市の洪水ハザードマップでも水没する所を通り、川口川の河底より低い所を通るため、ゲリラごう雨などで水没する恐れが大きい。又、地下構造道路となるため建設費やいじ費も膨大な金額となる。大金をかけて防災上役に立たない危険な道路は作るべきではないと思う。見直しをするべきである。</p>	4-12	まちづくり	
		<p>産業分科会</p> <p>山間地の農地では、イノシシ、サル、シカなどの被害が大きく、作付けそのものをあきらめる人もいる。これらに対する対策はどうか。里山の保全と併せて検討下さい。</p>	5-13	産業	
		<p>環境分科会</p> <p>3. 湧水の水源保全</p> <p>西部の小津、美山町の山は砕石業者により、山の40%位が削られようとしている。これに加えて川口町、西寺方町にある天合峰170haに物流拠点計画があり数十haにわたり山が削られる計画である。「みどり」や湧水保全の面から開発計画は両立しないと思われる。又、採算が取れるとは思えない計画はやめるべきと思う。保全と開発に対する考え方も検討すべきである。</p>	6-9	環境	
28		<p>8月15日広報特集号にて市民会議による中間取りまとめが示され、意見等の募集が行われています。感じたことをメモしましたので、検討の参考にさせていただければありがたく存じます。</p> <p>1、この中間取りまとめは、ゆめおりプランの期間が平成24年で切れるため、今後10年間を計画期間として、新たな基本計画を作成するものと説明されています。ゆめおりプランを紐解いてみますと、プランは4層構造に体系化されており、最上の概念は「基本構想」となっており、以下順次上位概念の下に、「基本計画(10ヵ年計画)」、「実施計画(3ヵ年計画)」、「各年度の予算」となっており、最下層の「各年度の予算」には計画実現のための毎年度の取り組み事業が掲げられることになっています。これらの計画は毎年見直すことになっています。(市のホームページより)</p> <p>それから現行のゆめおりプランは、概念が確立していないように見えます。基本構想、基本計画及び実施計画の概念・内容が人によってまちまちとなっており、統一されていないように思われます。このことは、資料によりことばの使い方や、整理の仕方が異なっていることから判断されます。</p> <p>平成15年の市役所配布のパンフレットの八王子ゆめおりプラン(保存用、概要版)では基本理念、都市像、基本施策等の言葉が使われています。</p> <p>2、これら2つの資料を比較すると、両者の用語の使い方が異なっています。</p> <p>基本構想=基本理念、基本計画=都市像、実施計画=基本施策及び施策、各年の予算=施策展開のための細施策、とそれぞれ対応しているように思えます。</p> <p>今回の特集号(8月15日版)に整理されている「中間取りまとめ」の内容は、上述の体系でいうと基本構想・基本計画つまり上位2層についてまとめたものと思われるが、基本構想及び基本計画の区別がしてありません。どれが基本構想に相当し、どれが基本計画に相当するものか分かりません。</p> <p>についてはゆめおりプランの体系(4層構造)を整理し、各層の概念(各層には何を記述するか)の整理をしてみてもいいでしょうか。(ex 目標、計画の領域、問題点、対策)</p> <p>3、これまでゆめおりプランは平成15年から10年間実施されてきました。今回の中間取りまとめは、前回のゆめおりプランと連動していなければならないと思います。つまり、前回のプランについて反省や検討を行い、目標の達成度、計画実施の問題点などを把握し、その反省・評価の上に立って次のプランの基本計画は作成されるべきだと思います。反省や評価が行われないうまま、新たな計画が作成されれば、従来達成された計画とのダブリや必要事項の欠落などを招来し、非効率なものになる恐れがあります。</p> <p>また、紙面に制約があるからと思いますが、とりまとめ事項について、それぞれの背景や現状についての説明がありません。説明があれば、取りまとめ事項の説得力がもっと高まったのではないのでしょうか。</p> <p>4、基本計画は人口の減少が前提になっているように思われますが、このことはしっかり議論していただきたい。八王子市の形として次期10年間の計画期間の人口の増加はたいしてないのか、当市は土沢地区、五ヶ野地区など新たな住宅団地を構えており、外部からの移住が多</p>	0-3	【事務局対応】	
		<p>4、基本計画は人口の減少が前提になっているように思われますが、このことはしっかり議論していただきたい。八王子市の形として次期10年間の計画期間の人口の増加はたいしてないのか、当市は土沢地区、五ヶ野地区など新たな住宅団地を構えており、外部からの移住が多</p>	1-11	みんなで担う公共と協働	【該当部】を分科会に配付

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
	8/31	<p>0年間の計画期間の人口の増加はないのでしょうか。当市は入川地区、みなみ野地区など新たな住宅団地を抱えており、外部からの移住が多く、未だ人口数は増加をたどっています。その理由は、都心への通勤が可能であること、住宅用開発用地があること、自然等の住環境に恵まれていること、住宅の価格が手ごろで購入しやすいことなどが考えられます。過去のトレンドだけから見れば、人口減少が予測されるかも知れません。</p> <p>このような中で、都心への通勤時間の短縮をはかる（新宿駅まで20分、東京駅まで30分をつなぐなど）、若夫婦が住みやすい低価格住宅を整備する、こども園などを整備し共働きを支援する、子供の教育環境を充実する、大学生に魅力のある住みやすい町（都心方向に下宿？）を整備する、レクレーション施設を整備する、高齢者福祉施設の充実などを図る、等により、人口が減少しないように出来るのではないのでしょうか。また、雇用機会の創出にも寄与することになると思われます。</p> <p>5、各論の一部〔中間取りまとめ『産業分科会』“農林畜産政策”〕について。 「生産から販売までの安定的な農業経営を積極的に推進し、農業の維持・発展を目指す」について。 八王子市の農業をみると、総農家数は1320戸で、うちほとんどが自給農家である（自給農家829戸、販売農家は491戸）。また、農家の生産規模は小さい（1ヘクタール以下の農家が84%）。また、生産物は露地栽培の野菜生産がもっとも多く、ついで20戸程度の酪農家により生産されている生乳が続く。これら2作目で全体の75%を占めている。また、期間的農業従事者は65歳以上が60%と高齢化が進む一方20歳代の従事者はほとんど無きに等しい。このような農業実態の中で、今後の目標なり、アクションを市や農家はどのようにしていくのか。ここに掲げられた取りまとめの文脈から、農業の実態にどのように働きかけて、発展に結び付けていこうとするのか、振動がなかなか伝わって来ない。 ここで八王子農業についてのキーワードを考えてみた。 農業生産者の立場：所得の確保、経営規模の拡大（含施設整備）、経営の（法人化）、後継者の確保、有利な販売（直販、契約販売、）、農業生産者（含自給農家）の生産組織化（共同販売所の整備）有機等付加価値の高い産物、栽培技術研修など 消費者の立場：安全・安心・新鮮作物の容易な入手、適正価格での確保、身近で容易に入手、生産過程の把握（顔の見える関係）など 地域生活者の立場：地域自然資源の保存、食料資源のリサイクル、農業交流・農業とのふれあい（農業体験、農業公園、市民農園整備）、農業・食糧の理解（食育）、労働の大切さ、環境緑化、など</p> <p>八王子農業の基本計画の検討案 * 野菜生産の組織化、（施設化）等をはかり、また、新規就農者の確保をはかり、周年生産体系を確立する。また、自給農家とも協働して、野菜等の生産・販売組織を整備する。高尾の山地から集めた芝材や地元畜産とタイアップして優良な堆肥をつくることを検討する。「高尾に育まれた八王子野菜」などとして販売。これらを通じて、所得向上を図る。 * 野菜の地産・地消を推進するため、直売所（含む道の駅）の整備や地元スーパー、学校給食、地元レストランなどと契約販売をすすめる。 * 地域生活者、子供、生徒等の農業見学、農業体験を推進する。また、農業公園を整備し農業に親しみ、遊びながら農業を理解できるようにする。また、市民農園を広め多くの生活者や家族が農業に親しめるようにする。また、農業に触れながら食糧の重要さ、生物多様性の意味、地球温暖化の問題、地球緑化の大切さを理解できるようにする。 * 道の駅については八王子産のいわばブランド野菜等をならべ、地域外の消費者に広報宣伝をはかる。道の駅には、市場から仕入れた他府県産のものは置かないようにする。少なくとも多摩地域ものに限定する。</p>	2-15	生活・共助	123 事務局
			3-17	教育・学習	4 環境分科会以外
			4-13	まちづくり	5 産業
			5-14	産業	
			5-14	産業	
29		<p>教育・学習分科会について 1 一人ひとりにフィット ・八王子市小中学校の特別支援を必要とする子どもたちの数は、この数年で、ますます増え続けているが、その実態が知られていない。現在、巡回している実態から考えると、子どもの約15%から20%が特別支援を必要としている。このまま放置することは、学級崩壊、教師の疲弊とうつ病の増加、離職増加、いじめや不登校の増加を招く危険がある。 崩壊している学校や不適應の子どもは、この数年においても、数知れず、早急に全面支援が必要である。至急、実態調査を行い、支援を必要とする子どもたちの数とそのニーズを把握することが必要である。子どもたちの悲鳴を放置することは、将来、さらなる予算と労力を必要とするような事態を招く結果となることが危惧される。 ・日野市で行われているような、リソースルームを全小中学校に整備し、一人ひとりのニーズに応じた学習支援や生活支援、親支援、教材や教授法の専門支援を行うことは即効性がある。教師、子ども、親にたいして、一部に負担を強いる実態、或いは、教師の指導力不足や親の力不足では解決できない。八王子市として、早急に、全面的に子どもたちをサポートする姿勢が必要である。至急、リソースルーム配置と整備に係る予算を確保する。1校300万程度、100校で、3億程度の予算が必要である。</p>	2-16	生活・共助	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
	8/31	<p>2 児童福祉と教育の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八王子市では、幼稚園、保育所に特別支援療育コーディネーターが配置されていないため、乳幼児に対する支援が行われていない。子育て支援の専門性に欠ける。早急に、特別支援療育コーディネーターを育成、配置し、学校の特別支援教育コーディネーターと連携する。 ・小中学校には、特別支援教育支援員やボランティアなしには、学級経営が成り立たなくなっている。早急に、特別支援教育支援員やボランティアを各学校のニーズに応じて配置する。不登校の増加、教員のうつ病、離職などへの予防策として、地域からのこどもへのサポートを不可欠である。整備を遅らせることは、学級崩壊を招き、地域人材流失などを招くばかりか、地域の安全や健全性の保持を危うくする。早急に、予算措置を講じる必要がある。 ・特別支援学級教員、通級による指導学級、特別支援教育コーディネーター、教育委員会巡回指導にかかわる人は、特別支援に関する知識と経験をもたなければならない。最低でも、特別支援教育学校教員の免許を持つ必要がある。早急に、特別支援に関わっている人材の資質調査を行い、万が一、教員や支援に係る人の勉強が不足している場合、ただちに研修や免許取得の機会を保障する、或いは専門の勉強をしている人材と配置交換する必要がある。 <p>生活・共助分科会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがのびのび全身運動を行えるよう安全なこどもの遊び環境を提供する。前橋市のように子どもの室内遊び場を設置し、子ども同士、地域も含めた遊び場を設置する。その管理や運営には、地域の人材を活用する。 	3-18	教育・学習	
30	8/31	<p>「製造業・情報産業政策」で、「強い競争力を持つ企業の拠点誘致」とあるが、このような受け身で無く、むしろ「強い競争力を与えられる」ような優遇策（免税、低利融資、工場規制の廃止等）を提案し、企業に当市への進出のメリットを売込む姿勢が必要であろう。</p> <p>「自然エネルギーへの転換」とあるが、これに目算があるのか。「太陽光や風力の利用」は耳には良いが、現状の使用電力を補うとすると、広大な土地と多くの資金が必要であり、現実的では無い。むしろ都も考えているようなLNG火力を市内に設置して廉価な電力を確保し、これをトリガに企業誘致を考えることもあるのではないかと。この場合には、当然に設置反対論が出るだろうが、公害対策の徹底等で、市が先頭に立って市民を説得する位の姿勢が望まれる。</p>	5-15	産業	
			6-10	環境	
31	9/1	<p>総合計画の義務付けは廃止されましたよね。なぜ、総合計画が必要なのか説明が必要ではないですか？本当に10年がいいの？3年、5年、どこまでを考えるの？</p> <p>幸福度ナンバーワンとは何ですか？幸福度がよくわからなし、何をめざしたいのかが不明。 みんなが担い手？なぜ、行政が市民に負担を求めるのですか？どれだけ税金を支払えばいいのですか？ごみの有料化も納得していません。 地域委員化とは何ですか？既に町会・自治会の連合会や市民センターの運営協議会もあります。どれだけ同じようなことをやるんですか？ お互いにコミュニケーションを図るとは何ですか？何をしたいんですか？ コミュニティカフェなるものが本当に必要ですか</p> <p>市役所で24Hの健康相談なんて不要では。#0119番がありますよね。重複したサービスは無駄。 ボランティアのポイントも他の民間のポイントとの交換も検討しても面白いのでは 市民同士が相談できるというが、相談はやはり専門家ではないのか？ 男女共同参画が言われるが、いったいいつまでいうの？本当の平等なんていうのはないのではないかと。性差を認めて尊重できればもう、そんなに力を入れる分野ではないのでは？</p> <p>100周年の記念行事は、楽しみである。大いにもりあげてもらいたい。</p> <p>防犯カメラの設置促進もよいが、民間でやるよりも警察主体でやってもらいたい。民間や市役所がやるよりも厳格に運用されそうであるため。 消防団の役割の見直しをしてもらいたい。火を消すだけの任務から発展させてはどうか。また、金銭的なメリットもより多く与えた方が、やる気も高まるのではないかと。 川の駅、里の駅もいいが、施設建設をいう時代ではないのではないかと。 歩いて楽しい中心市街地を言うのは、行政のプランが言うことか？地元の人が動かなければ、何もできないのでは？ 黒堀なんて、意味がわからない。あれがほんとにいいと思う市民がいるの。いるとしても地元の一部の人でしょう。</p> <p>現実的なプランがない。夢を語る時代でないでしょ。もう少し、現実を踏まえたものとするか、もしくは、もっと高い理想を掲げたプランにして欲しい。電力だなんて流行にのりすぎ。</p> <p>現実的なプランがない。夢を語る時代でないでしょ。もう少し、現実を踏まえたものとするか、もしくは、もっと高い理想を掲げたプランにして欲しい。電力だなんて流行にのりすぎ。 エネルギーの地産地消なんてほんとにできると思ってるの？あそびでないでしょ。 カーシェアなんていうのは、交通の便がいいところでやるものでは エネルギー債なんて、国レベルの話在市でなんて何をかんがえているのか 生き物風凧なんて発想はおもしろい</p>	0-4	【事務局対応】	
			1-12	みんなで担う公共と協働	
			2-17	生活・共助	
			3-19	教育・学習	【該当部】を分科会に配付（一部のみ事務局対応）
			4-14	まちづくり	
			5-16	産業	
			6-11	環境	

通し No	受付日	内容	分科会 No.	分科会名	備考
32	9/2	<p>今後ご検討いただきたいこと 「市民活動・市民協働都市宣言」の採択 この「中間のまとめ」では、みんなで担う公共と協働を標榜しています。 都市宣言は市と市民の強い意思と覚悟を示すものです。 平成11年に採択した男女共同参画社会都市宣言は、私たち市民の指針として、当市における男女共同参画社会の形成に大きく寄与いたしました。 「新しい公共」を考えると、その達成には市民活動・市民協働が不可欠です。 市民会議で本案をご検討いただき、宣言文を高らかに発表していただきたいものと希求いたしております。</p>	1-13	みんなで担う公共と協働	
33	9/5	<p>1. コーディネーターの育成について 小学校のPTAの役員を務めているが、安全や図書についてボランティアや町会など、同様のことを実施している団体が複数あるため、活動が分散されてしまっているような面がある。学校運営協議会の中で、コーディネート機能を協議会の委員が担うような論議をしているが、コーディネーターをボランティアの範疇で実施するにも限界があるように思える。要請のあった地域や学校に対して、コーディネーターを市の職員が一つの業務として実施していただくとありがたいと思う。</p> <p>2. 「ワーク・ライフ・バランス都市」宣言について ワーク・ライフ・バランスの充実において重要なのは、学びの機会のような受け皿をつくることとあわせ、自分の時間をいかにつくるかということではないかと思う。そのためには、企業が労働時間を縮減することが不可欠である。市として、市の職場の労働時間を縮減することはもちろん、民間企業に対してどのように働きかけていくか、注目したい。</p>	3-20	教育・学習	